

# 2024年「教師のためのことばセミナー」のご案内

一般財団法人 ラボ国際交流センター  
東京言語研究所

東京言語研究所では2019年まで9回にわたり、「教師のためのことばワークショップ」を開催し、「ことばへの気づき」の概念を基盤としたワークショップを行ってきました。そして、2021年からは「教師のためのことばセミナー」として、教師を主たる対象として理論言語学の考え方や方法を講義とディスカッションを交えた形式で解説する企画を始めました。

今年度は「ことばへの気づき」の対象となる言語知識やその獲得・使用などについての講義に加え、話題沸騰の生成AIと言語教育との関連についての講義を2つ組み込むことにしました。小・中・高・大の先生以外にも、教員志望者、社会人など、いろいろな背景をもつ方々にむけ、わかりやすく解説します。

**時間：** 各日 10:00AM~12:00PM (12月15日のみ終了時間 12:40PMまで)

**講義形態：** ZOOMによるオンライン講義

**受講料：** 12,500円(消費税込) / 全5回 ※事前振込制

※1日単位の申込受付は行っておりません

## 日程・講義テーマ・担当講師(全体コーディネーター大津由紀雄)：

①10月13日(日曜日) 10:00AM~12:00PM

日英語文法の違いを踏まえた英文法指導：

二重目的語構文、所格交替、部分所有者上昇、非制限関係節などを例に挙げて

(岡田伸夫・大阪大学名誉教授)

②10月27日(日曜日) 10:00AM~12:00PM

学校国文法と学校英文法：その構造と教育のあり方(森篤嗣・武庫川女子大学教授)

③11月17日(日曜日) 10:00AM~12:00PM

生成AIの仕組みと日本語文の分類—教育の観点から—(近藤泰弘・青山学院大学名誉教授)

④12月1日(日曜日) 10:00AM~12:00PM

AI活用は、教育的な願いから始まるコミュニケーションである(柳瀬陽介・京都大学教授)

⑤12月15日(日曜日) 10:00AM~12:40PM 拡大版

・ことばの教育の本質を探る(巨理陽一・中京大学教授)

・大津由紀雄(慶應義塾大学名誉教授)との対談

**申込み受付期間：** 9月6日(金) 10:00AM~10月7日(月) 10:00AM

受付期間内に[こちら](#)もしくはQRコードよりお申込みください。

**受講料振込締切：** 10月7日(月)



## 10月13日(日) 10:00AM~12:00PM

日英語文法の違いを踏まえた英文法指導：

二重目的語構文、所格交替、部分所有者上昇、非制限関係節などを例に挙げて

(岡田伸夫・大阪大学名誉教授)

Mary sent the doctor John.には、Mary sent John to the doctor と異なり、医者がジョンを（たとえば奴隷や新しい助手として）もらったという含意が伴う。しかし、学校では両文を同義と見なし、両文を書き換えさせる。本講義では、同義であると教えられている2つの構文のペアをいくつか取り上げ、ペアをなす2つの構文の意味がどのように異なるのか、なぜ学校では異なる意味を持つ2つの構文を同義と教えてきたのかについて考察する。

岡田伸夫 講師プロフィール

大阪大学名誉教授。専門は英語学研究に基づく学習英文法研究。共著に『言語科学と関連領域』（岩波書店）、共編著に『英語研究と英語教育：ことばの研究を教育に活かす』（大修館書店）などがある。『英語の構文 150 Second Edition』（美誠社）や『Genius English Readings』（大修館書店）などの教材の作成にもかかわる。大学英語教育学会副会長、理事、日本英語学会理事、大会運営委員長を歴任。文部科学省現代的教育ニーズ取組選定委員会専門委員を務める。

## 10月27日(日) 10:00AM~12:00PM

学校国文法と学校英文法：その構造と教育のあり方（森篤嗣・武庫川女子大学教授）

学校国文法と学校英文法は、様々な経緯を経て現在の形に至っている。現状が良いと考えている関係者は多くないと思われるが、一方でどこに問題があり、教育としてどのように変えるべきかと問われると、万人が納得する形を示すのは容易ではない。本講義では、学校国文法と学校英文法の現状の確認と、その構造の比較を通して、教育のあり方について考えるための土台となる情報を示したい。それに基づき、受講者自身が両者の新たな展開を考え、実行していくことを期待したい。

森篤嗣 講師プロフィール

武庫川女子大学教授。兵庫教育大学学校教育学部卒業。大阪外国語大学言語社会研究科博士後期課程修了。博士（言語文化学）。

チュラロンコン大学講師、実践女子大学助教、国立国語研究所助教・准教授、帝塚山大学准教授・教授、京都外国語大学教授を経て現職。光村図書出版小学校国語及び英語編集委員、日本語教育学会調査研究推進委員会副委員長、関西言語学会大会委員会副委員長など。2015年度日本語教育学会奨励賞受賞。2017年度独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金第1段審査委員表彰。日本語教育、日本語学、国語科教育など幅広い研究分野に興味関心がある。

## 11月17日(日) 10:00AM~12:00PM

生成 AI の仕組みと日本語文の分類—教育の観点から—（近藤泰弘・青山学院大学名誉教授）

チャット形式で質問に答えてくれる生成 AI が実用化されてきた。しかし、生成 AI は、それだけのものではなく、その持っている内部の知識を取りだして使うことで、文学・語学研究に広く応用が可能である。今回の講演では、まず、生成 AI の言語生成の仕組みを言語学的観点から説明し、その内部情報を用いて言語研究を行うための基礎的な知識についてわかりやすく解説する。その後、具体的に、現代日本語の解析に生成 AI の内部知識を用いることで、日本語のセンテンスに、従来知られていなかった区別があることを示し、国語教育・外国人への日本語教育の場にもそれが応用可能であることを示していく。

#### 近藤泰弘 講師プロフィール

1955 年生まれ。日本女子大学文学部助教授、青山学院大学文学部教授を経て、現在、青山学院大学名誉教授。前日本語学会会長。博士（文学）。専門は日本語文法理論・日本語史・コンピュータ言語学。『日本語記述文法の理論』（ひつじ書房）その他の著書がある。古典日本語の統語構造、現代日本語の敬語・指示表現などを主に扱う。現在、生成 AI による古典語・現代語の解析を中心に研究を進めている。

#### **12 月 1 日（日）10:00AM~12:00PM**

AI 活用は、教育的な願いから始まるコミュニケーションである（柳瀬陽介・京都大学教授）

教育の AI 活用は、教師が、1) 自らの教育的な願いを明らかにすること、2) AI とコミュニケーションを取りながらプロンプトを作成すること、3) プロンプトの成果について学習者とコミュニケーションを取るものの 3 段階で実現する。教育的願いは、歴史と社会についての大局観から得られる。AI とのコミュニケーションは、人間社会での機能的コミュニケーションと大差ない。そして、学習者とのコミュニケーションは、究極的には学習者を自律的な AI ユーザーにすることを目指す。

#### 柳瀬陽介 講師プロフィール

京都大学教授。京都大学の教養教育で英語ライティングと英語リスニングを主に教える。研究のアプローチは、哲学的枠組みを使いながら英語教育実践の知恵を言語化すること。最近の論考では「AI を活用して英語論文を作成する日本語話者にとっての課題とその対策」が 1 ヶ月で 2 万件以上のアクセスを得た。ブログ「英語教育の哲学的探究 3」（<https://yanase-yosuke.blogspot.com/>）と SNS の X（<https://x.com/yosukeyanase>）で積極的に情報発信中。

#### **12 月 15 日（日）10:00AM~12:40PM**

ことばの教育の本質を探る（巨理陽一・中京大学教授）

かつて大津（2009）は、言語教育の一般的な目的の 3 つ目として「ことばを使って自己の思考を表現し、同時に、他者の言語表現の意図するところを的確に判断することの大切さを学習者に気づかせる」ことを掲げました。私が気になっているのはむしろ、先生が授業の中でそのチャンスをどのくらい拾えているか、すなわち、授業の中で児童・生徒が何らかの思考を表現しようとした際、「その言語表現の意図するところを的確に判断」して対話できているかということです。そのコミュニケーションにこそ「ことばのおもしろさ、豊かさ、怖さ」に気づく機会が埋もれているのではないかと、そういう視点からことばの教育の本質を探りたいと思います。

#### 巨理陽一 講師プロフィール

中京大学国際学部教授。言語学的成果にもとづいて教育内容・教材を構成し、実際の授業を通じて学習者が「わかる」・「できる」ようになる過程を明らかにすることを究極の関心に、みんなが知的喜びを共有でき、生徒も教師も楽しく学べる授業・カリキュラムのあり方を追究している。著書に『どうする、小学校英語？ --- 狂騒曲のあとさき』（慶應義塾大学出版会、2021 年、大津由紀雄との共編）、『英語教育のエビデンス』（研究社、2021 年、共著）など。